

視察研修・研修会等報告書

議席番号〔 3 〕議員名〔 飯塚英夫 〕

1 年 月 日	令和5年10月23日(月)~令和5年10月24日(火) (日数:1泊2日)
2 場 所	滋賀県大津市唐崎二丁目13-1 全国市町村国際文化研修所
3 視察・研修事項	市町村議会議員研修〔2日間コース〕「議会改革を考える～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～」
4 面 接 者	講師 早稲田大学名誉教授 北川正恭氏 他
5 視察研修、研修会の成果 研修内容 1. 地方議会の展望 早稲田大学 名誉教授 北川正恭氏 2. 「議会改革度調査」から見る地方議会 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健氏 3. 住民参加・情報公開を進める取組① 岩手県奥州市議会 議長 菅原由和氏 4. 住民参加・情報公開を進める取組② 長野県宮田村議会 議長 天野早人氏 5. 各議会における今後の議会改革推進の検討 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健氏 成果及び考察 首長執行部と議会の二代表制であり、対等な機関競争があつて当然である。よつて、市町村長にお願いは禁句に(提案に)。 議員活動は、やつて当然であつて議会活動を積極的に行うため、議会事務局とチーム議会で活動のシステム構築を進めるべきである。 議長マニフェストの公表=市民との約束 執行部の監視機能という思い込みの払拭=執行部と対等な機関競争 宮田村でのむらづくり基本条例の制定について。住民・行政・議会の三者で制定。未来のむらづくりを担う世代が議会と接するきっかけづくりとしての取組がすばらしい。中学生の職場体験として議会活動・議員活動の体験。高校生には「むらびと会議」の委員委嘱。 以上、心に残つた講義からの抜粋でした。	
次ページへ続く	

「昨年に引き続いて二度目の当研修所での参加となりました。新型コロナウイルス感染拡大も5類への移行により、従来どおりの研修スタイルに戻ったのではと思いました。それでも先輩議員の話では、色んな意味でかなり質素?になったとのことでした。

今回の研修では、参加者の3/4が岐阜県含む西日本地域からでありました。また、年齢層はかなり若い方が多くさらに、女性議員の参加がとても多く多様性に富んだ活気ある研修でありました。

各議会でのいろんな取組が紹介されました。議会だよりでの住民参加・情報公開または、ペーパーレス化オンライン会議の実践など、下呂市議会でもこのご時世、使える手段はフルに利用するタイミングに来ていると痛感させられました。まずは、実践。

以上。